

第3回日カナダ商工会議所協議会合同会合 門司挨拶

1 冒頭

皆様おはようございます。第3回日カナダ商工会議所協議会合同会合がここ仙台における開催を心よりお慶び申し上げます。日カナダカナダの商工会議所の皆様、本日もご列席の皆様のご努力に心からの敬意と感謝の意を表明したいと思っております。本日の会合を通じて、有意義な意見交換が行われ、将来の具体的な日カナダ間の協力につながることを期待しております。

2 過去1年間の政府間の関係強化

さて、昨年のバンクーバーでの第2回会合に出席いたしましたが、その2ヶ月後、昨年5月にトルドー首相の日本公式訪問が実現し、安倍総理との首脳会談で「日カナダ協力新時代」を築いていくことが合意されました。そして、日カナダ次官級経済協議の再活性化が合意されました。

この経済協議は昨年10月にオタワで開催され、5つの優先分野、すなわち、インフラ、エネルギー、科学技術協力、ビジネス環境改善と投資促進、そして観光と青少年交流について議論が行われました。この機会にはじめて、日本側からジェトロ、カナダ側からカナダ商工会議所の民間のメンバーが参加するセッションが設けられました。そして、今回の会合には日本カナダ双方から政府関係者が出席しております。このように2つの会合結びつける、官民連携を通じた協力をこれからも進めていきたいと思っております。

3 トランプ米大統領の誕生

また、トランプ米大統領の誕生は、日カナダ関係にも新しい展開をもたらしつつあります。カナダはその貿易の7割が米国を相手としており、トランプ新政権が打ち出すNAFTA再交渉やTPPからの撤退などの新たな政策は、カナダに大きな影響を及ぼすと言われていますが、その影響は、カナダ始め北米で活動する日本企業にも及び得るものです。日カナダ二国間関係のみならず、カナダ米関係及び日米関係についても、日カナダ両国で緊密な連絡を図って行く必要があると考えます。

4 前向きな動きと現在直面する課題

日カナダ関係は大きく進展しています。昨年日本を訪問したカナダ人は約27万人と、3年連続で過去最高を更新しました。昨年は、アパレル産業やIT産業のカナダ進出も相次ぎ、和食の人気も高まっています。私も日本酒の普及に努めております。一方で、昨年の二国間の貿易総額は、前年比で約1600億円、約8%の減少となっています。カナダへの日本企業の投資も、米国やアジアへの投資と比べると、まだまだ伸びる余地があると言わざるを得ません。

私は、日カナダの更なる貿易投資拡大のためには、多くの課題があると考えています。例え

ば、就労ビザ、カナダにおける行政手続、日カナダ双方の企業への情報提供、さらにはインターンシップの促進などの課題です。勿論、油価の低迷、環境・エネルギーなどのグローバルな課題にも対応していかなばなりません。政府としては、カナダ政府とも協力しつつ、官民が連携して粘り強く立ち向かい、果敢に挑戦していくことが必要と考えております。

5 カナダの魅力

カナダは、豊かな天然資源や農産物を有するほか、世界から多様な人々が集まる多文化社会です。イノベーションの拠点としても潜在性を有しています。魅力的な先進国市場であると同時に、米国市場や欧州市場へのアクセスの点でも有利です。

日本企業がイノベーションを促進し、一層世界に飛躍していく上で、カナダとの貿易投資関係の強化は、重要な選択肢の一つと考えております。

6 まとめ

本日の議論を通じ、日カナダ双方の経済界の皆様が相互理解を深め、また人脈を広げていただき、積極的にビジネスチャンスをつかんでいただくことを期待しております。本年はカナダ建国150周年です。来年は日カナダ修好90周年の記念すべき年となります。このような機会を捉えて、日カナダ関係を一層推進していきたいと考えております。ご静聴ありがとうございました。